

カールツァイス投影機の展示・保存にご協力を！

価値あるカールツァイスプラネタリウムⅣ型投影機

- ・プラネタリウムを発明したカールツァイス製（ドイツ）です。
- ・戦災で焼失した東日天文館（有楽町）に次ぐ、東京では2台目のプラネタリウム投影機です。
- ・44年間に約1600万人が星空を観覧した、多くの人々に思い出深い投影機です。
- ・この投影機の星空を見て、多くの類似施設が全国に建設されました。
- ・この投影機で多くのプラネタリウム解説者も育ち、各地で活躍しています。
- ・この投影機は昭和史を語るうえで欠かせない存在です。

渋谷に眠る投影機

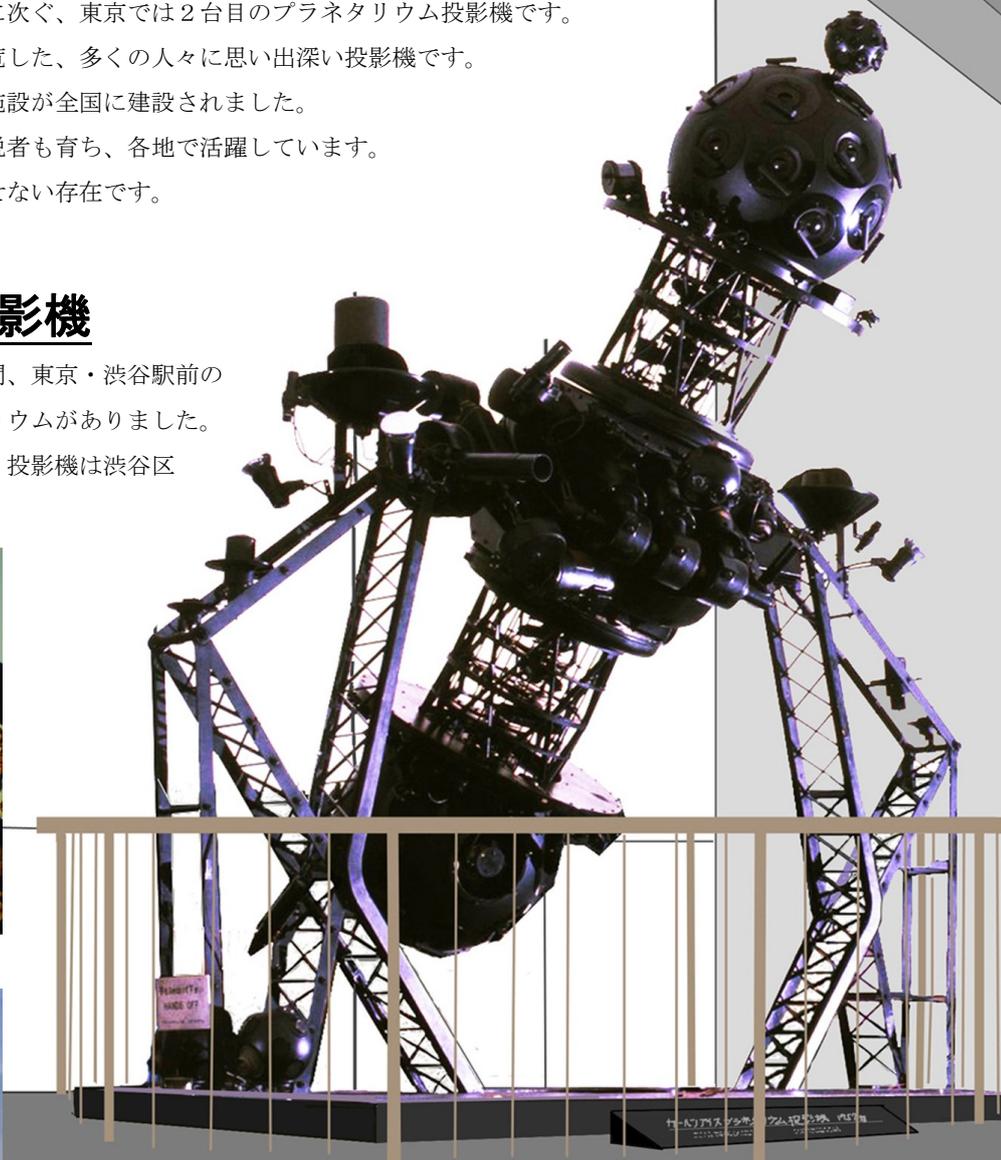
1957年から2001年までの44年間、東京・渋谷駅前の東急文化会館に天文博物館五島プラネタリウムがありました。多くの人から惜しまれつつ閉館したあと、投影機は渋谷区に寄贈され、倉庫に保管されています。



昭和60年ころの五島プラネタリウム



渋谷区文化総合センター大和田（完成予想）



展示・保管イメージ

旧五島プラネタリウム投影機を後世に遺したい

2010年秋、渋谷駅前に渋谷区文化総合センター大和田がオープンします。私たちはこの施設内に投影機を展示・保存することを目的として、渋谷区に協力する形で旧五島プラネタリウム投影機展示保存実行委員会を立ち上げました。

募金の目標金額は700万円

施設内に展示・保存するための台座製作、投影機の再組み立て、保護柵取り付けなど、費用は約700万円です。7月末までに資金の準備をして作業を開始する必要があります。ご賛同いただける皆様のご寄付をお願いいたします。

旧五島プラネタリウム投影機展示保存実行委員会

実行委員長 村山 定男

募金キャンペーンホームページ

<http://www.tenjihozon.org>

詳しい説明と募金案内はこちらをご覧ください